

第二成田記念病院 入院患者様へ

当院では下記に臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合に、下記問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題	「回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の病型と帰結の関係」＜後ろ向き研究＞
当院の研究責任者	リハビリ室 室長 後藤健一
情報を提供する他の研究機関	無
本研究の概要	当院に入院された脳卒中患者様の入院時の情報から当院を退院される時の状態を予測する方法についての研究です。リハビリテーションを受けられる患者様にとって、また提供するスタッフにとっても、回復期リハビリテーション病棟退院時の到達目標はより具体的で妥当性のあることが重要です。そのような目標を設定するには、まず精度の高い帰結（退院時の状態）の予測が必要となります。これまでは年齢、発症からの日数、麻痺の程度、日常生活動作の自立度等のデータから予測する方法を検討しましたが、今回は脳卒中の病型（アテローム血栓性脳梗塞・心原性脳梗塞・脳出血）が帰結にどの程度影響するかを検討した研究です。過去約10年間に脳卒中で当院に入院された患者様のデータ分析から、退院時の運動機能は前述の3つの病型の内脳出血が最も良好であることが示唆されました。
調査データの該当期間	2011年4月～2021年3月
研究対象・研究方法	対象は、2011年4月から2021年3月に当院回復期リハビリテーション病棟に入院し退院を確認したアテローム血栓性脳梗塞・心原性脳梗塞・脳出血患者様。退院時運動FIM（機能的自立度評価法；日常生活活動の自立度を定量化したもの）についてアテローム血栓性脳梗塞・心原性脳梗塞・脳出血の3群間で統計学的手法を用いて比較しました。 尚、個人情報とは全てデータ化して、個人が特定できないように処理したうえで分析を行いました。
結果の公表	学会や論文で公表します
利益相反	本研究に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	第二成田記念病院 0532-51-5666 （平日9～17時） 担当者 後藤健一